

旧桔梗屋保全活用事業

保存活用方針

令和 7 年 7 月

藤沢市

目次

資料タイトル	ページ
旧桔梗屋に関する履歴	2
旧桔梗屋における保存の基準について	3
部分と部位の基準表	
部分設定表	
店蔵外観	4
店蔵内装	5
主屋外観	6
主屋内装	
文庫蔵外観	9
文庫蔵内装	
部分設定図	
1階 平面図	10
2階 平面図	11
3階 平面図	12
屋根伏図	13
立面図 1	14
立面図 2	15
立面図 3	16
立面図 4	17
立面図 5	18
立面図 6	19
部分設定写真 (外観)	
店蔵外観 1	20
店蔵外観 2	21
主屋外観 1	22
主屋外観 2	23
文庫蔵外観 1	24
文庫蔵外観 2	25
文庫蔵外観 3	26
部分設定写真 (内部)	
店蔵 1階	27
店蔵 2階	28
店蔵吊床	29
主屋 1階玄関ホール	30
主屋 1階ゲンカン	31
主屋 1階ブツマ	32
主屋 1階ウナサシ	33
主屋 1階縁側 1	34
主屋 1階広縁	35
主屋 1階縁側 2	36
主屋 1階湯沸かし室	38
主屋 1階倉庫	39
主屋 2階縁側 3	40
主屋 2階前室	41
主屋 2階洋間	42
主屋 2階南八畳	43
主屋 2階北八畳	44
主屋階段・縁側 3	45
主屋階段 2	46
文庫蔵 1階	47
文庫蔵 2階	48
文庫蔵 3階	49
部分設定詳細図	
店蔵	
1階 平面詳細図	51
2階 平面詳細図	52
1階 天井伏図	53
2階 天井伏図 1	54

資料タイトル	ページ
部分設定詳細図	
2階 天井伏図 2	55
店蔵	
展開図 1	56
展開図 2	57
展開図 3	58
展開図 4	59
展開図 5	60
展開図 6	61
展開図 7	62
展開図 8	63
展開図 9	64
展開図 10	65
展開図 11	66
展開図 12	67
建具表 1	68
建具表 2	69
部分設定詳細図	
主屋	
1階 平面詳細図	70
2階 平面詳細図	71
1階 天井伏図	72
2階 天井伏図	73
展開図 1	74
展開図 2	75
展開図 3	76
展開図 4	77
展開図 5	78
展開図 6	79
展開図 7	80
展開図 8	81
展開図 9	82
展開図 10	83
展開図 11	84
展開図 12	85
展開図 13	86
展開図 14	87
建具表 1	88
建具表 2	89
部分設定詳細図	
文庫蔵	
1階 平面詳細図	90
2階 平面詳細図	91
3階 平面詳細図	92
1階 天井伏図	93
2階 天井伏図	94
3階 天井伏図	95
展開図 1	96
展開図 2	97
展開図 3	98
展開図 4	99
展開図 5	100
展開図 6	101
建具表 1	102
建具表 2	103

1 旧桔梗屋に関する履歴

表1は、旧桔梗屋の歴史的建築物に関する履歴を確認したものである。

表1. 旧桔梗屋に関する履歴一覧

西暦	元号	旧桔梗屋			構造・形式	特徴
		店蔵	主屋	文庫蔵		
1861年	文久元年			新築	梁間2 間半・桁行6 間。土蔵造3 階建、切妻造・棧瓦葺	鬼瓦には店蔵と同じくヤマサンの紋を打ち、軒を2 段の鉢巻。開口部を南・北の妻側、出入口を東側に2 箇所設け、いずれも観音開きの塗戸
1880年	明治13年	大 川 屋 火 事				
1909年	明治42年			修理		
1910年	明治43年	起工				旧東海道南側から移転
1911年	明治44年	上棟・新築			梁間3 間半・桁行4 間2 尺。土蔵造2 階建、切妻造、棧瓦葺	奥行の深い下屋、出桁、軒蛇腹、黒漆喰塗、観音開窓
			新築		梁間2 間半・桁行6 間。木造2 階建、切妻造・トタン葺。西側に奥行2 間半の下屋あり。	ゲンカンには元は畳敷の和室、東側の幅1 間分がかつては土間、西側の階段は箱階段、根太天井（塗装しているが当初の姿）、ブツマ・オクノザシキは家族の生活の場で、特にオクノザシキは床・違棚・平書院を備えた格の高い造り
1921年	大正10年			譲り受け		前所有者（中栄）から5 代清右衛門が譲り受けた。
				修理		
1923年	大正12年	関 東 大 震 災				
1920年代後期	大正後期	改造			瓦、鬼瓦の葺き換え	
1920年代後期	大正後期		増築		1 階の台所・浴室と2 階の洋間2 室	創建時の敷地から突出、柱寸法がブツマ・オクノザシキ等より細い。小屋組が異なる
					ゲンカン西側とブツマの東側2箇所の階段の増築	
1925年	大正14年			改造	小屋組の改造及び3階床の設置	登り梁、中央間のみ和小屋組。関東大震災後はさみ登り梁の現存例は旧桔梗屋文庫蔵のみ
1941年	昭和16年		改造		屋根を瓦葺からトタン葺に改造 2階の洋間を板敷きから床の間・押入を増築し、畳敷きに改造	
1945年	昭和20年	第 二 次 世 界 大 戦 終 結				
1970年	昭和45年	改造			チョウバの畳敷きから板敷に改造	
1989年	平成元年	改造			1 階下屋筋のガラス戸と両脇一間を壁とする改造（下屋下部の室内化）	
			増築		2階東側縁側を増築	
2011年	平成23年	修理			店蔵蛇腹及び外壁の修理（東日本大震災による被災）	
2016年	平成28年		修理 減築		縁側1、3の幅を当初の幅に戻すのに 伴い屋内外を改造	
				修理	東面1階外壁の土塗漆喰壁を補修 東面1階塗りごめ戸を補修	

2 旧桔梗屋における保存の基準について

旧桔梗屋の復原年次については、「表 1. 旧桔梗屋に関する履歴一覧」に基づき、昭和 16 年とする。

公募時において、店蔵、主屋、文庫蔵の改修等の設計及び施工に係る提案をする際には、「表 2. 部分と部位の基準表」、「表 3. 部位設定表」、部分設定図、部分設定写真（外観）、部分設定写真（内観）及び部分設定詳細図に基づき計画するものとする。

なお、店蔵、主屋、文庫蔵の改修等に係る設計及び施工をする際には、旧桔梗屋保存活用計画（令和 8 年 6 月頃に策定予定）に従い実施するものとする。

表 2. 部分と部位の基準表

部位 \ 部分	保存部分	保全部分	その他の部分
	文化財としての価値を守るために保存する部分	文化財として維持・保全する部分（活用・補強等のための改造、保存・活用において原状に復する部分を含む）	活用・補強等のために改変が許容される部分
基準 1 ・当初の部材 ・当初材を転用して使用している部材	原則、部材の保存を行う。補修・更新する場合は、可能な限り当初の仕様に倣う。	補修・更新する場合は、復原年次の意匠に配慮する。	補修・更新又は利活用目的で改変する場合は、意匠に配慮する。
基準 2 ・当初材又は当初仕様に倣って更新された部材	補修・更新する場合は、復原年次の意匠に配慮する。	補修・更新又は利活用目的で改変する場合は、意匠に配慮する。	補修・更新又は利活用目的で改変する場合は、周囲との調和に配慮する。
基準 3 ・復原年次以降に材又は仕様が改変された部材 ・建築後、後世の整備、活用または安全性向上のために加えられた部材	補修・更新又は利活用目的で改変する場合は、周囲との調和に配慮する。	補修・更新又は利活用目的で改変する場合は、周囲との調和に配慮する。	補修・更新又は利活用目的で改変する場合は、周囲との調和に配慮する。

注 1）改変する場合は、原則、上表によるものとする。ただし、維持管理上の合理的な理由から改変するもので、可逆性（改変前に戻すことができること）や歴史的な意匠に配慮するものについては、本市及び保全アドバイザーとの協議によるものとする。

可逆性に配慮し、部位・部材等を改変する場合は、改変に関する計画書を作成し、本市及び保全アドバイザーの承諾を得、写真・図面等により記録するほか、サンプルとなる既存部位・部材等を保管すること。

なお、改変の内容により、登録有形文化財の現状変更の届出が必要となる場合があるため、事前に改変の可否を確認すること。

注 2）部分設定詳細図の建具表に示す建具（以下「対象建具」という。）については、原則、補修等の上現状の位置で活用すること。このうち、フスマを除く対象建具については、活用せず取り外そうとする場合、本市及び保全アドバイザーの承諾を得、適切に保管すること。対象建具のうちフスマについては、建具表に示す特記によること。

表 3. 部位設定表

【店蔵外観】

面	部位		材質・材種等	詳細	基準	備考	
全体	屋根		瓦葺 6.25 寸	後補材	2		
	基礎		石積み	当初材	1		
	雨樋		銅製	当初材	1		
	雨樋		塩ビ製	後補材	3		
南	下屋屋根		瓦葺 5 寸	後補材	2		
	蛇腹		土塗漆喰仕上げの上 塗装	当初材 後補材	1 3	H25 以降、黒漆喰塗仕上げを塗装 仕上げに変更	
	外壁	2 階	土塗漆喰仕上げの上 塗装	当初材 後補材	1 3	H25 以降、黒漆喰塗仕上げを塗装 仕上げに変更	
		1 階	なまこ壁	後補材	3		
	開口部	2 階	塗りごめ戸	当初材 後補材	1 3	H25 以降、黒漆喰塗仕上げを塗装 仕上げに変更	
			片引き漆喰塗り戸	当初材	1		
			片引きガラス戸	当初材	1		
			鉄製格子	当初材	1		
		1 階	ケンドンガラス戸	後補材	3		
			4 本引き違いガラス戸	後補材	3		
			引き違いガラス戸	後補材	3		
			木製縦格子	後補材	3		
	西	外壁		モルタル塗り洗い出し	当初材	1	
				土塗り漆喰仕上げ	当初材	1	
北	外壁		豆砂利洗い出し	後補材	2		
東	外壁	2 階	波板トタン張り	当初材	1	関東大震災時	
		1 階	土塗り漆喰仕上げ	当初材	1		
				後補材	2	昭和後期設置	
	開口部	2 階	塗りごめ戸	当初材	1		
			片引き漆喰塗り戸	当初材	1		
			片引きガラス戸	当初材	1		
			鉄格子	当初材	1		
		1 階	引き違いガラス戸	当初材	1		
			塗りごめ戸	当初材	1	(詳細不明)	

注) 上表の「材質・材種等」「詳細」「基準」「備考」については、現況有姿を優先する。

【店蔵内装】

階	室	部位	材質・材種等	詳細	基準	備考
1 階	チョウバ	天井	大引天井	当初材	1	
		壁	土塗りの上漆喰塗り	当初材	1	
		腰	木製	後補材	3	
		開口部	塗りごめ戸	当初材	1	
			片引き漆喰塗り戸	当初材	1	
			片引きガラス戸	当初材	1	
		家具	木製棚	当初材	1	固定
			木製カウンター	後補材	3	固定
		床	合板の上ジュウタン敷き	後補材	3	
	板敷	壁	土塗りの上漆喰塗り	当初材	1	
		腰	基礎石一部モルタル塗り	当初材	1	
		家具	木製棚	当初材	1	
		床	床板	当初材	1	
		階段	木製	当初材	1	
	ドマ	天井	大引天井	当初材	1	
			軒天現わし	当初材	1	
		壁	土塗りの上漆喰塗り	当初材	1	
			土塗りの上漆喰塗り	後補材	2	
		腰	基礎石一部モルタル塗り	後補材	3	
		家具	木製棚	当初材	1	
			落とし板戸	当初材	1	
		床	土間コンクリート金ゴテ	当初材	1	
			瓦タイル張り	後補材	3	
2 階	倉庫	天井	小屋組現わし	当初材	1	
		吊り床	木製すのこ（吊り床）	当初材	3	
		壁	土塗りの上漆喰塗り	当初材	1	
		腰	木製	当初材	1	
		家具	木製棚	当初材	1	
		床	板張り	当初材	1	

注) 上表の「材質・材種等」「詳細」「基準」「備考」については、現況有姿を優先する。

【主屋外観】

面	部位	材質・材種等	詳細	基準	備考
全体	屋根	波板鉄板	後補材	2	関東大震災時に瓦葺から変更
	外壁	杉板タテ張り	後補材	3	H28 時
		波板鉄板張り	後補材	3	H28 時
		豆砂利洗い出し	後補材	2	関東大震災時、H28 時
		漆喰塗り	後補材	2	
	開口部	木建具	当初材	1	関東大震災時
			後補材	2	H28 時
			後補材	3	昭和後期時
			後補材	3	H28 時、鋼製雨戸付（木製戸袋）
		アルミサッシ	後補材	3	
	基礎	石積み	当初材	1	

注) 上表の「材質・材種等」「詳細」「基準」「備考」については、現況有姿を優先する。

【主屋内装】

階	室	部位	材質・材種等	詳細	基準	備考
1 階	玄関ホール	天井	敷目張り	後補材	3	
		壁	ジュラク塗り	後補材	3	
		巾木・腰	モルタル金ゴテ	後補材	3	
		床	平石洗い出し板	後補材	3	
	ゲンカン	天井	大引天井、板張	後補材	3	
		壁	ジュラク塗り	後補材	3	
		巾木・腰	木製	後補材	3	
		床	ジュウタン、パーケットフロア小一松	後補材	3	
	ブツマ	天井	竿縁天井	当初材	1	
		壁	漆喰塗り	当初材	1	
				後補材	3	
		巾木・腰	タタミ寄せ	当初材	1	
		床	タタミ	後補材	2	
	オクノザシキ	天井	竿縁天井	当初材	1	
		壁	ジュラク塗り	当初材	1	
		巾木・腰	タタミ寄せ	当初材	1	
		床	タタミ	後補材	2	
	縁側 1	天井	竿縁天井（修理前既存天井）	後補材	2	H28 新設
		壁	ラスボード下地漆喰塗り	後補材	2	
		巾木・腰	木製	後補材	2	
		床	桧縁甲板	後補材	2	
	広縁	天井	タルキ・野地板現し	後補材	3	
		壁	漆喰塗り	後補材	3	
		巾木・腰	木製	後補材	3	
		床	板	後補材	3	

	縁側 2	天井	竿縁天井	当初材	1	
		壁	漆喰塗り、一部OP塗り	当初材	1	
		巾木・腰	木製	当初材	1	
		床	板	当初材	1	
	縁側 2 (2畳)	天井	木製OP塗り	後補材	3	トップライト
		壁	木製OP塗り	後補材	3	
		巾木・腰	タタミ寄せ	当初材	1	
		床	タタミ	後補材	2	
	便所 1	天井	カガミ板	当初材	1	
		壁	化粧ベニヤ	当初材	1	
		巾木・腰	腰板	当初材	1	
		床	板	当初材	1	
	便所 2	天井	竿化粧天井	当初材	1	
		壁	化粧ベニヤ	当初材	1	
		巾木・腰	腰板	当初材	1	
		床	CFシート	後補材	3	H28 新設
	湯沸かし室 (旧浴室)	天井	竿化粧天井	当初材	1	
		壁	板張り、スス竹押縁	当初材	1	
		巾木・腰	腰板	後補材	3	H28 新設
		床	フローリング	後補材	3	
	倉庫 (旧台所)	天井	現し	—	—	小屋裏
		壁	OP塗り	後補材	3	
		巾木・腰	合板	後補材	3	H28 新設
		床	土間コンクリート、同時金ゴテ	後補材	3	H28 補修・改装、梁補強
2 階	縁側 3	天井	目透かし化粧野地現し	後補材	2	H28 新設
		壁	ラスボード下地漆喰塗り	後補材	2	
		巾木・腰	木製	後補材	2	
		床	桧縁甲板	後補材	2	
	縁側 3 (階段 1)	天井	軒天現わし	当初材	1	
		壁	板張り下地漆喰塗り	当初材	1	
		巾木・腰	木製	当初材	1	
		床	桧縁甲板	当初材	1	
	前室	天井	板張り下地（紙張り）	(当初材)	(1)	紙張り：剥がし済
		壁	板張り下地（紙張り）	(当初材)	(1)	紙張り：剥がし済
		巾木・腰	木製	当初材	1	
		床	ジュウタン	後補材	3	
	洋間	天井	竿化粧天井	当初材	1	
		壁	板張り下地（紙張り）	(当初材)	(1)	紙張り：剥がし済
			土塗り下地紙張り	(当初材)	(1)	土塗：店蔵外壁
		巾木・腰	木製	当初材	1	
		床	タタミ	後補材	2	

	南八畳	天井	竿縁天井	当初材	1	
		壁	ジュラク塗り	当初材	1	
			漆喰塗り	当初材	1	
		巾木・腰	タタミ寄せ	当初材	1	
		床	タタミ	後補材	2	
	北八畳	天井	竿化粧天井	当初材	1	
		壁	ジュラク塗り	当初材	1	
			漆喰塗り	当初材	1	
		巾木・腰	タタミ寄せ	当初材	1	
		床	タタミ	後補材	2	
共通	階段 1	天井	木舞天井	後補材	2	H28 補修
		床	木製	当初材	1	
	階段 2	天井	竿縁天井	当初材	1	
		床	木製	後補材	3	
	物入	天井	木製	当初材	1	

注) 上表の「材質・材種等」「詳細」「基準」「備考」については、現況有姿を優先する。

【文庫蔵外観】

面	部位	材質・材種等	詳細	基準	備考
全体	屋根	瓦葺 6.25 寸	当初材	2	
		銅板箱棟	後補材	3	
	蛇腹（南・北）	土塗り漆喰仕上げ	当初材	1	
	蛇腹（東）	土塗り鉄板巻き	後補材	3	
	外壁（南）	土塗り漆喰仕上げ	当初材	1	
	外壁（西）	波板トタン張り	当初材	1	
	外壁（北）	波板トタン張り（上部）	当初材	1	
		土塗り漆喰仕上げ（下部）	当初材	1	
	外壁（東）	波板トタン張り（上部）	後補材	3	
		土塗り漆喰仕上げ（下部）	当初材	1	
		土塗り漆喰仕上げ（下部）	後補材	2	
	腰（南）	なまこ壁	後補材	2	
	腰（東・北）	モルタル塗り	後補材	3	
	開口部	木製塗りごめ戸	当初材	1	
	基礎	石積み	当初材	1	
	雨樋	塩ビ製	後補材	3	

注）上表の「材質・材種等」「詳細」「基準」「備考」については、現況有姿を優先する。

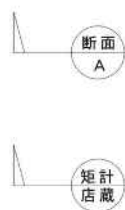
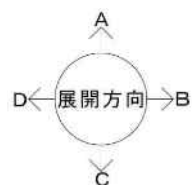
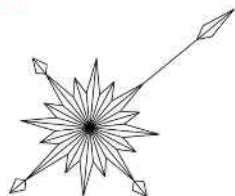
【文庫蔵内装】

階	室	部位	材質・材種等	詳細	基準	備考
1 階	一	天井	大引天井	当初材	1	
		壁	板張り	当初材	1	
		巾木・腰	基礎石	当初材	1	
		床	合板敷き	後補材	3	
2 階	一	天井	大引天井	後補材	3	
		壁	板張り	当初材	1	
		巾木・腰	木製	当初材	1	
		床	板 t25	当初材	1	
3 階	一	天井	小屋組表わし	当初材	1	
		壁	板張り	当初材	1	
		巾木・腰	木製	当初材	1	
		床	板 t25	当初材	3	

注）上表の「材質・材種等」「詳細」「基準」「備考」については、現況有姿を優先する。

凡例

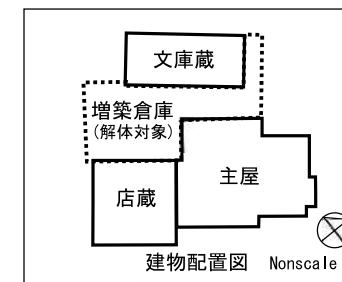
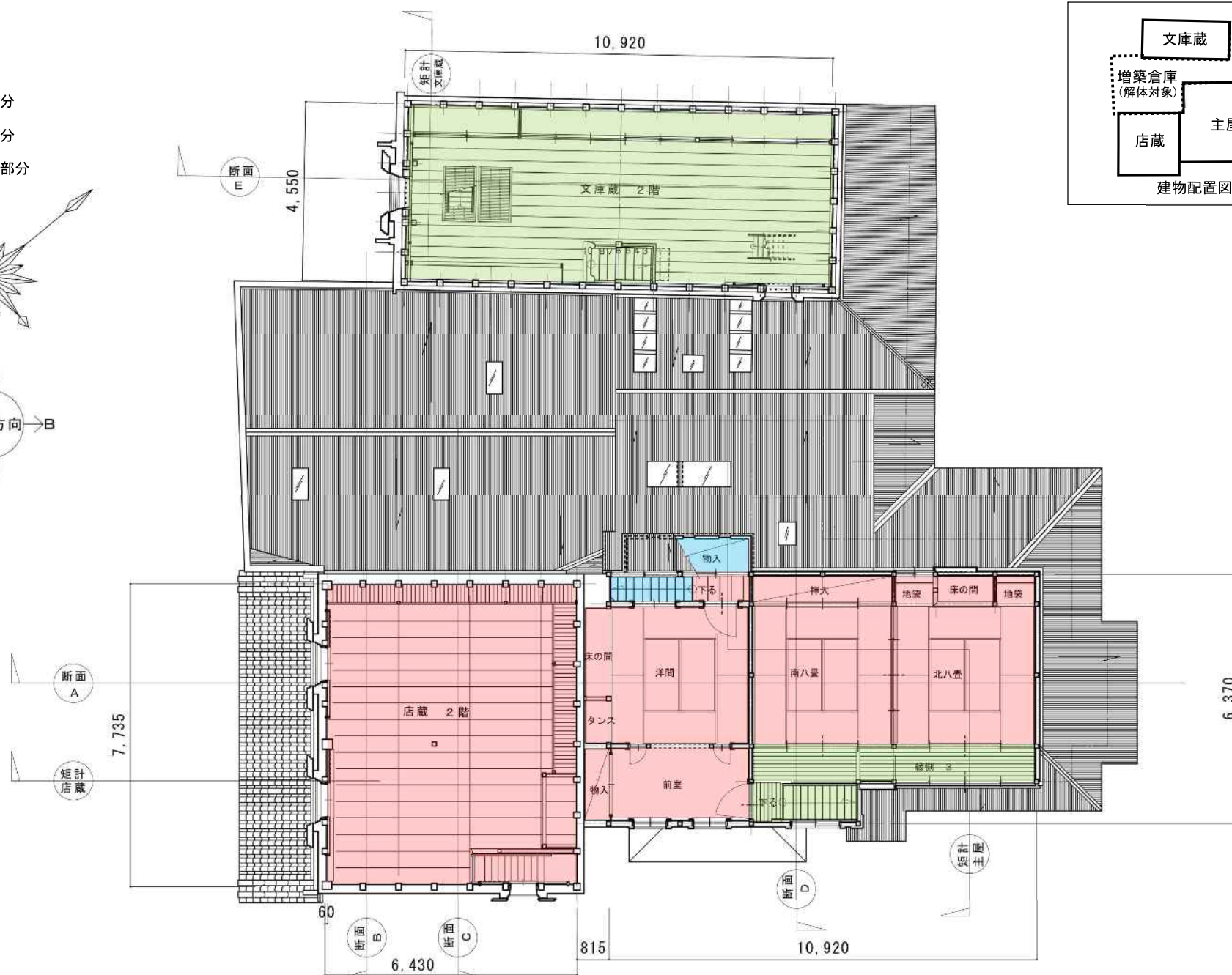
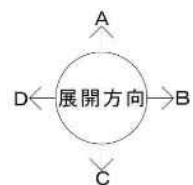
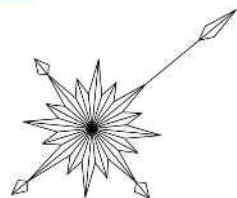
- 保存部分
保全部分
その他部分



部分設定図 1階 平面図

凡例

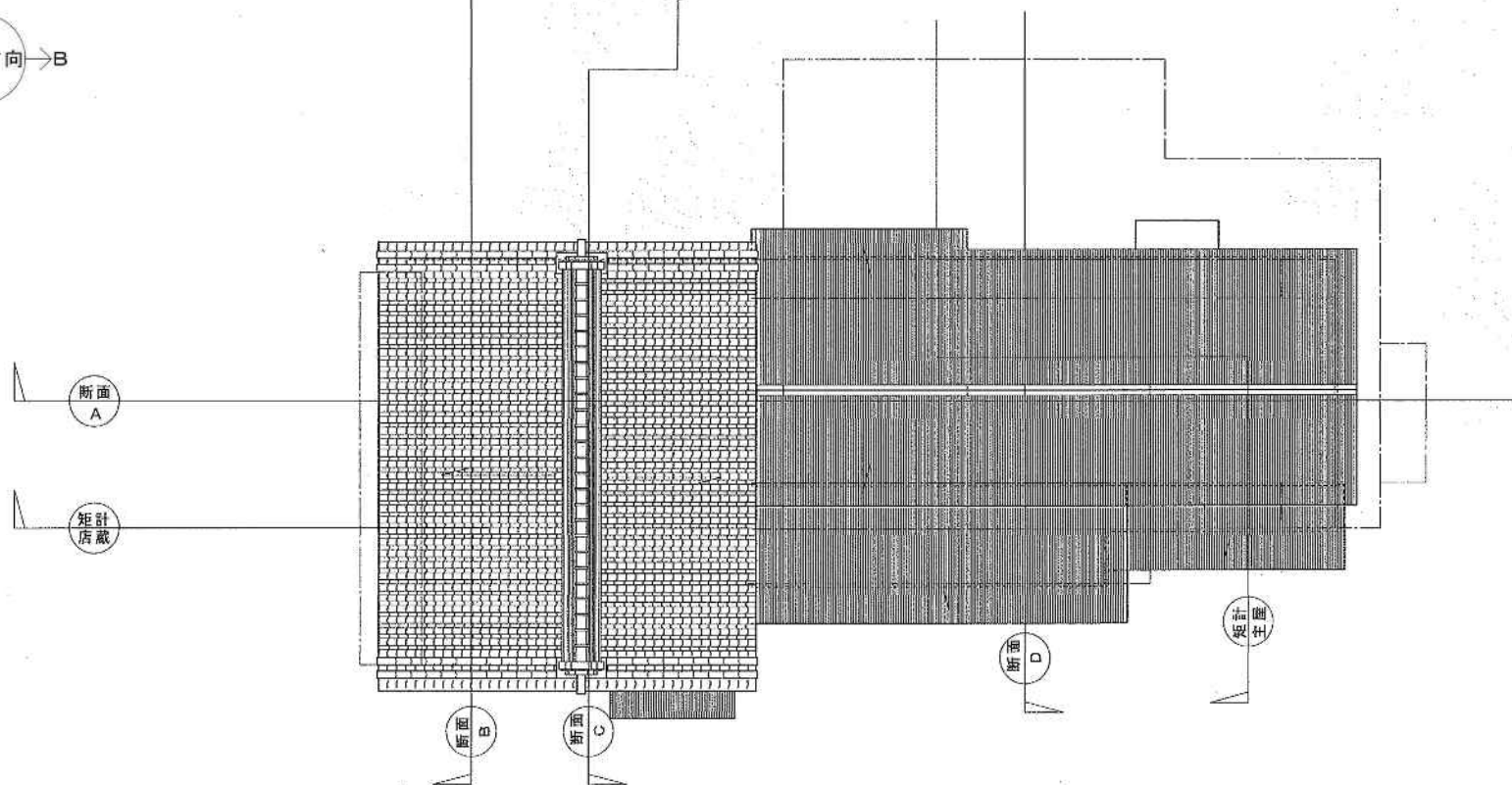
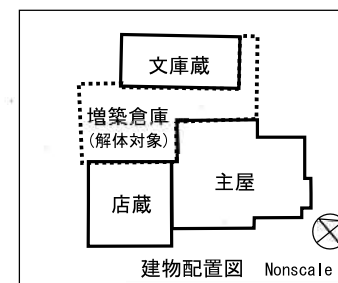
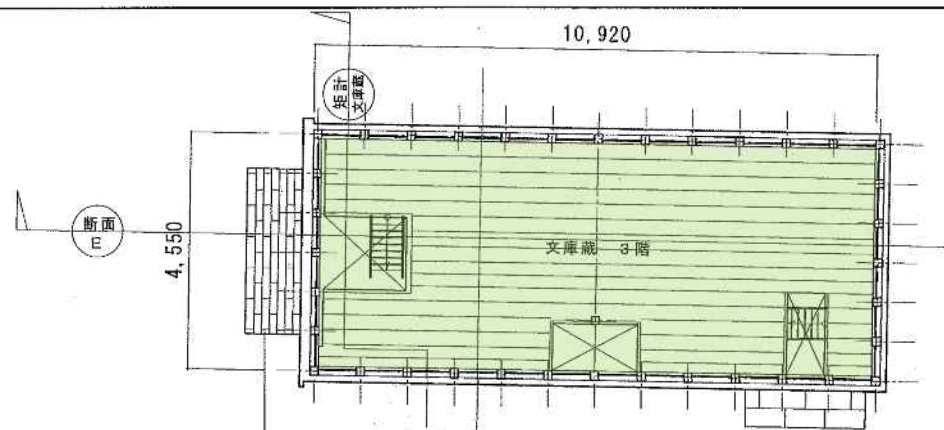
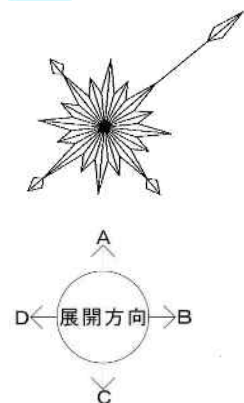
- 保存部分
- 保全部分
- その他部分



部分設定図 2階 平面図

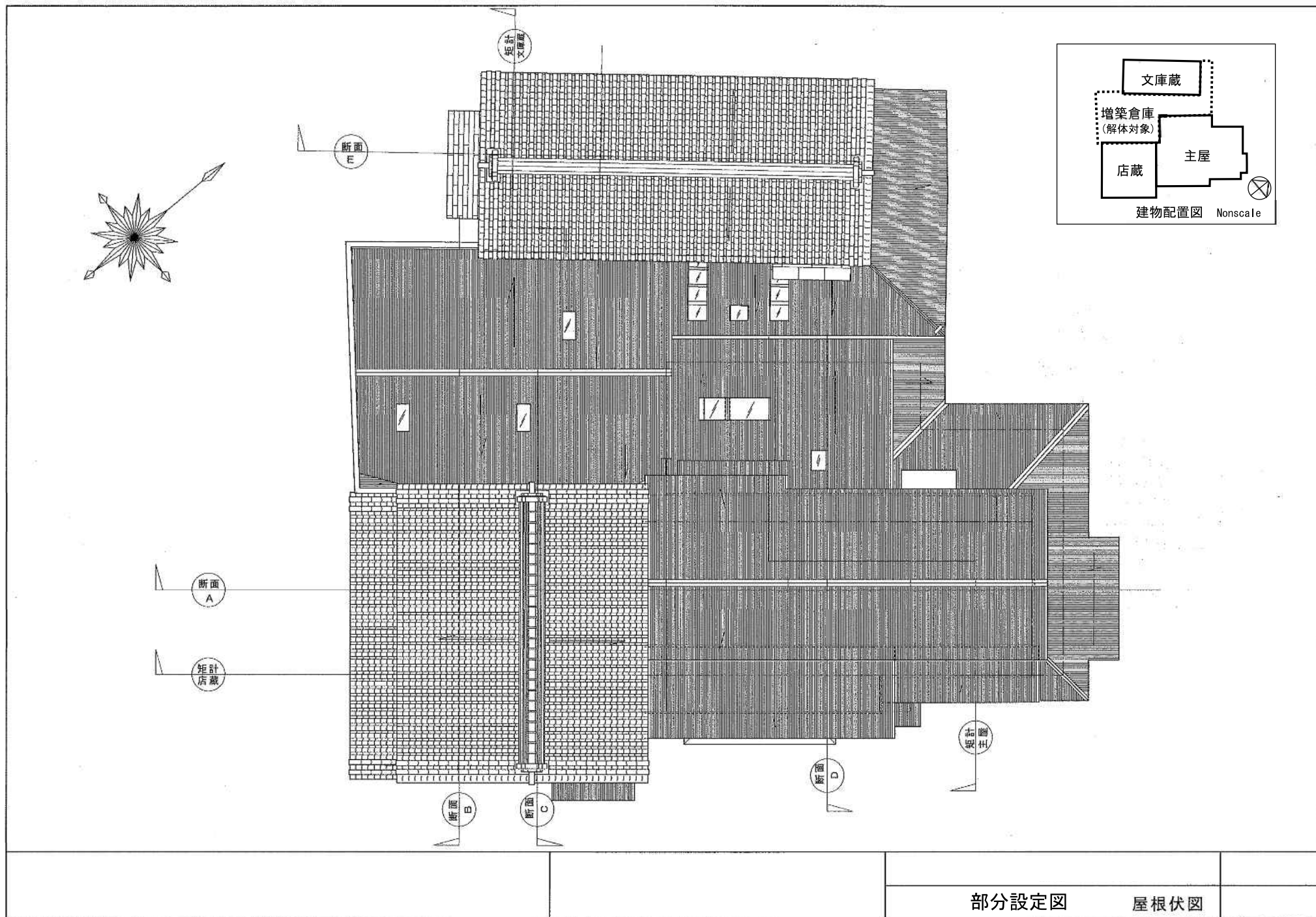
凡例

- 保存部分
- 保全部分
- その他部分



部分設定図

3階 平面図

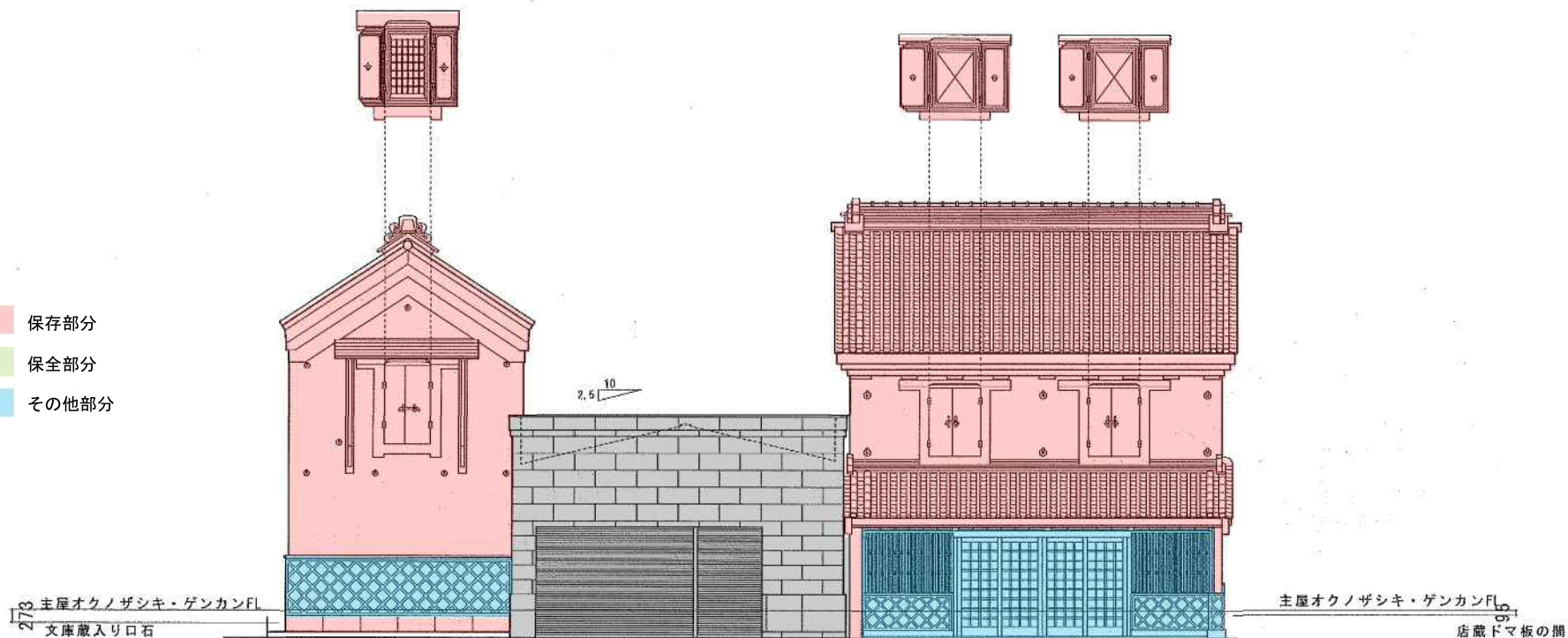


凡例

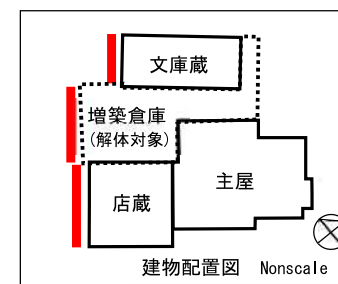
保存部分

保全部分

その他部分

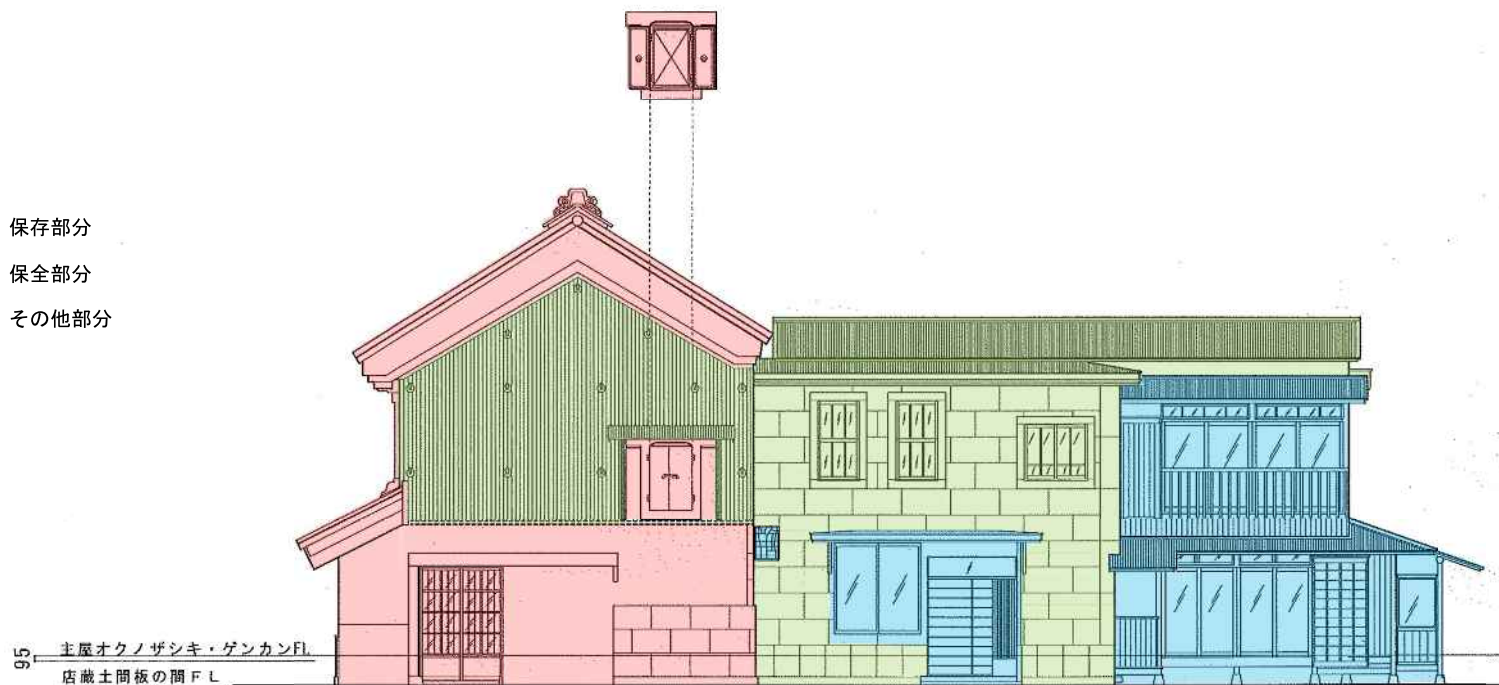


文庫蔵・店蔵 南 立面図

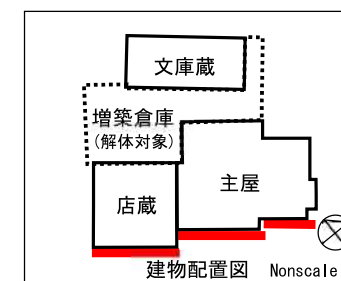


凡例

- 保存部分
- 保全部分
- その他部分



店蔵・主屋 東 立面図

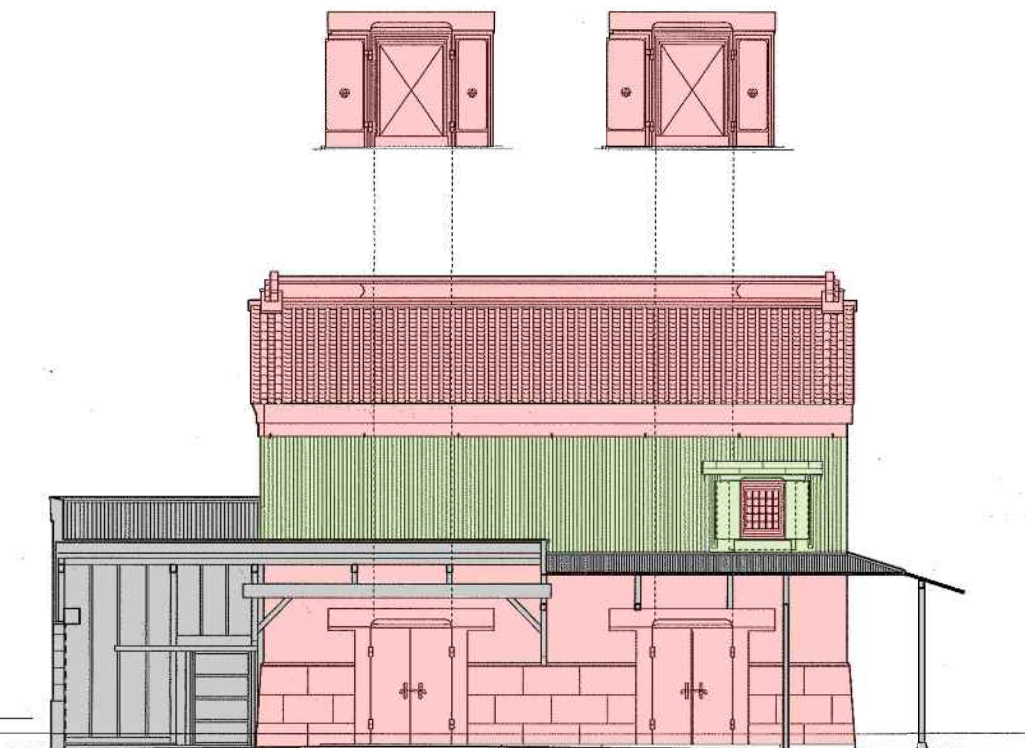


部分設定図

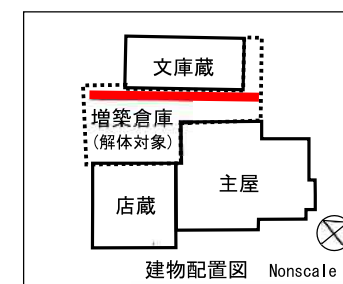
立面図 2

文庫蔵
 保存部分
 保全部分
 その他部分

273 主屋オクノザシキ・ゲンカンFL
 文庫蔵入り口石



文庫蔵 東 立面図

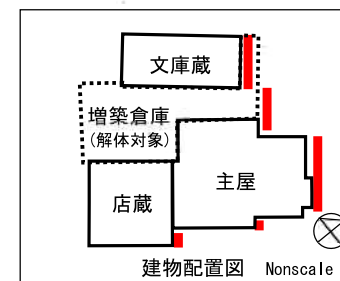


凡例

- 保存部分
- 保全部分
- その他部分



店蔵・主屋・文庫蔵 北 立面図

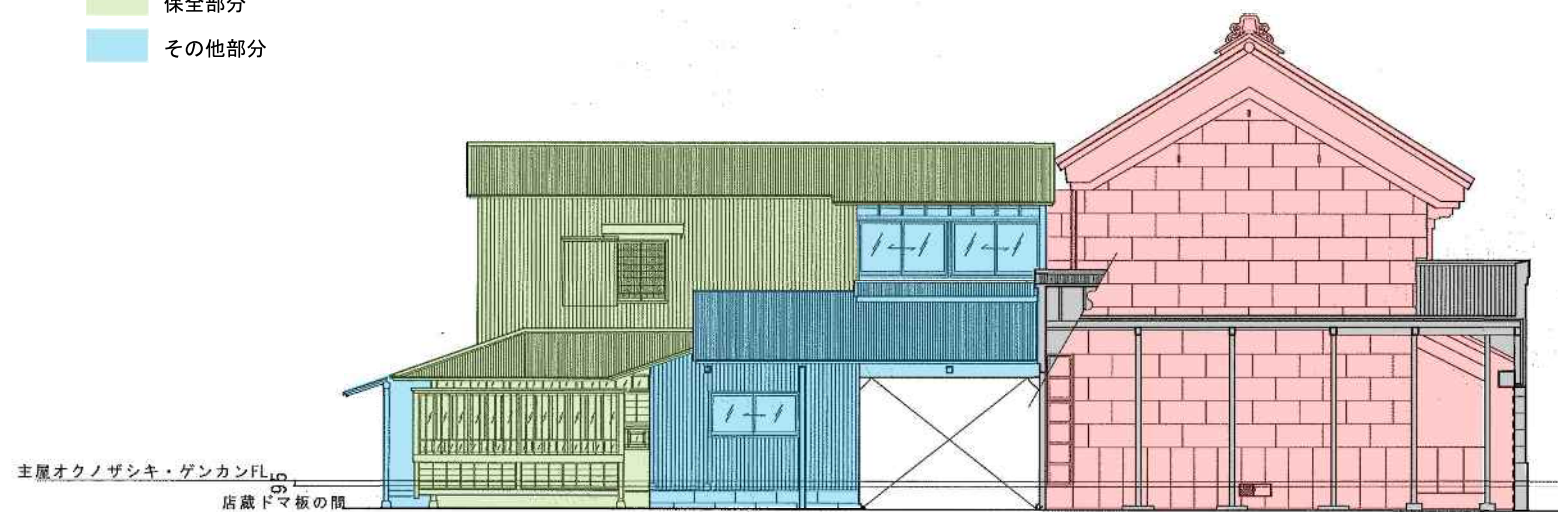


部分設定図

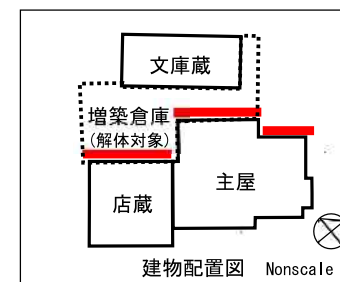
立面図 4

凡例

- 保存部分
- 保全部分
- その他部分

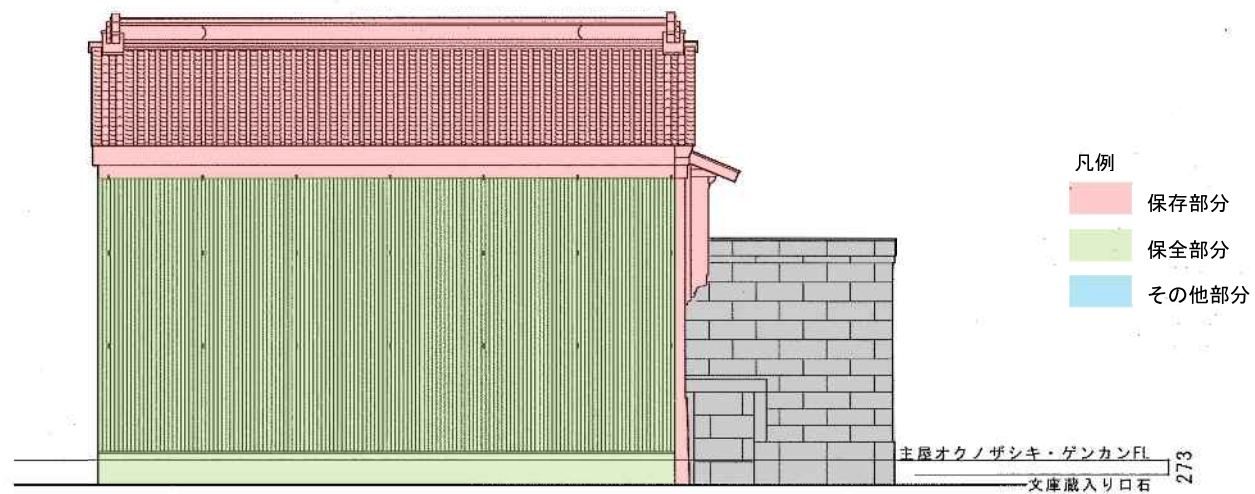


主屋・店蔵 西 立面図

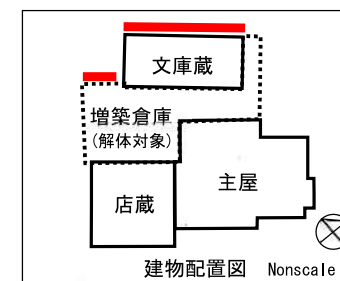


部分設定図

立面図 5



文庫蔵 西 立面図



部分設定図

立面図 6

部位設定写真（外観）

店蔵 外観 1



南面・東面



北面

店蔵 外観 2



西面



西面

主屋 外観 1



東面



東面

主屋 外観 2



北面・西面

文庫蔵 外観 1



南面



北面

文庫蔵 外観 2



東面 (2 階)



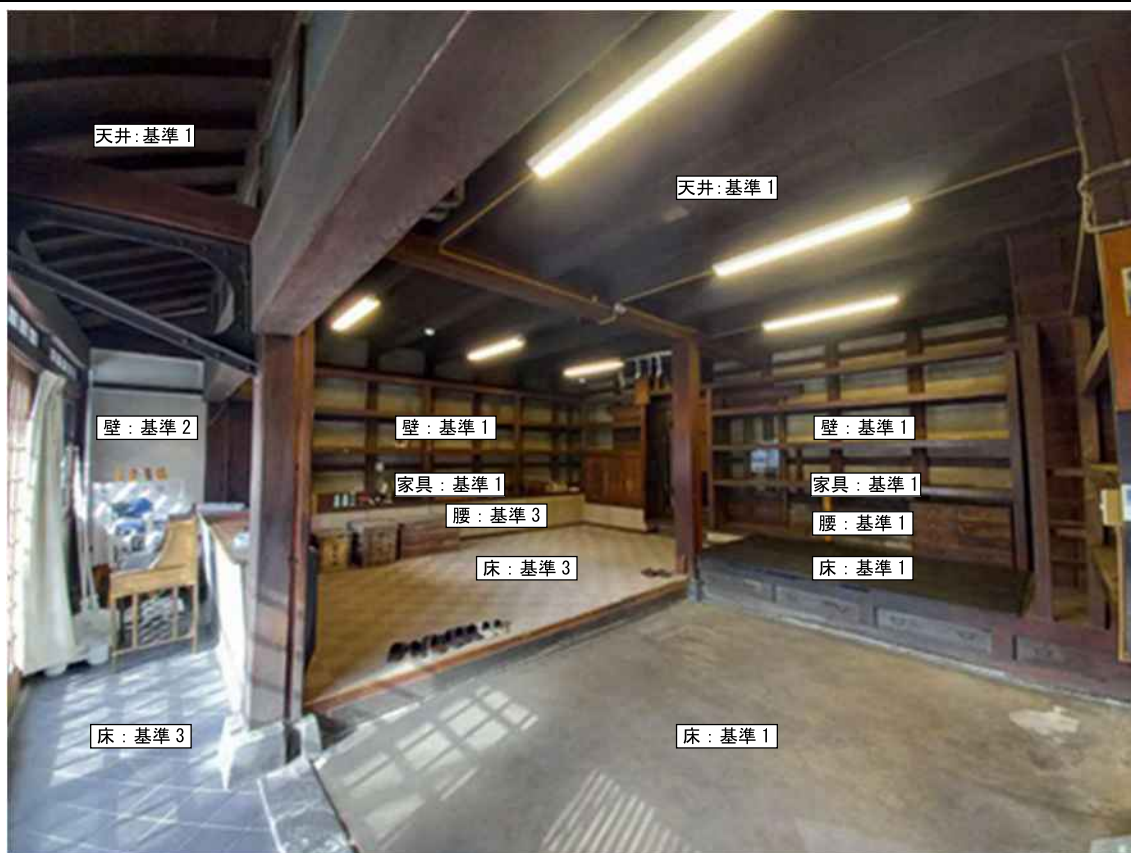
東面 (2 階)



東面（1 階）

部位設定写真（内部）

店蔵 1階 チョウバ・板敷・ドマ



北面・西面



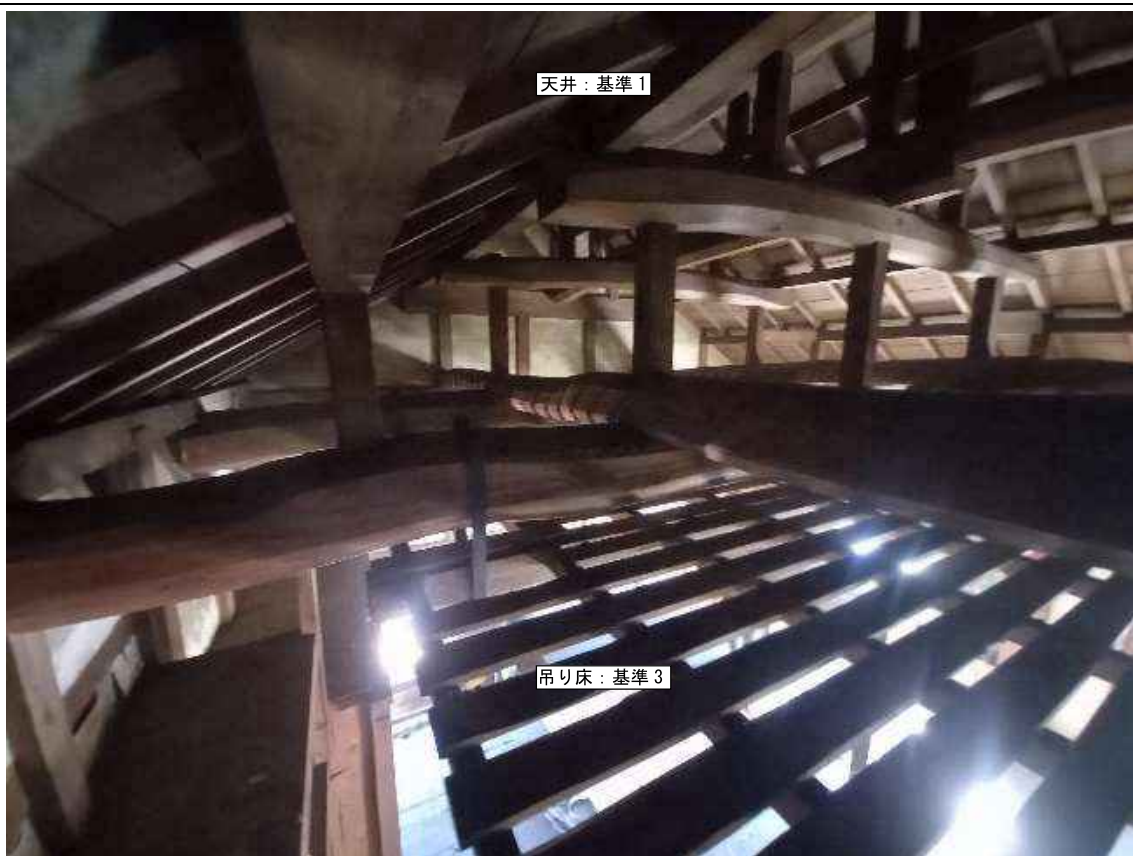
南面・東面

北面・西面

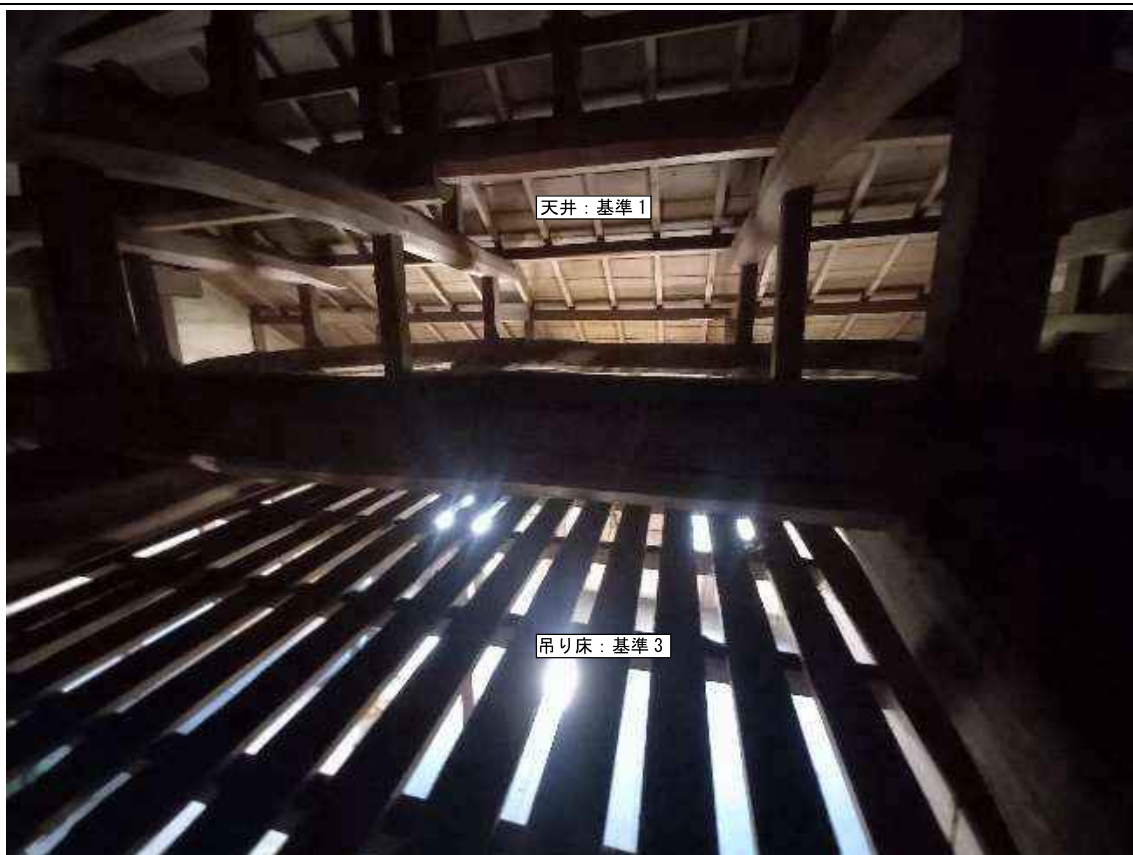


南面・東面

店蔵 吊り床



小屋組・吊り床

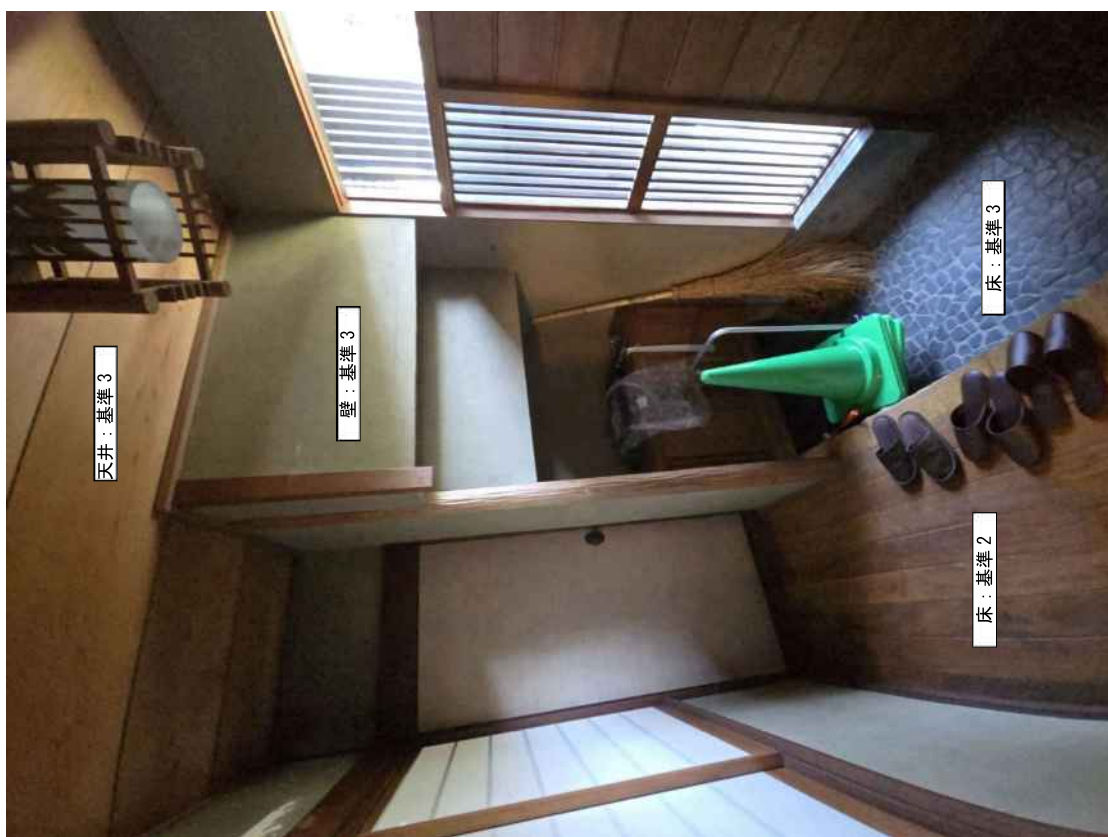


小屋組・吊り床

主屋 1 階 玄関ホール

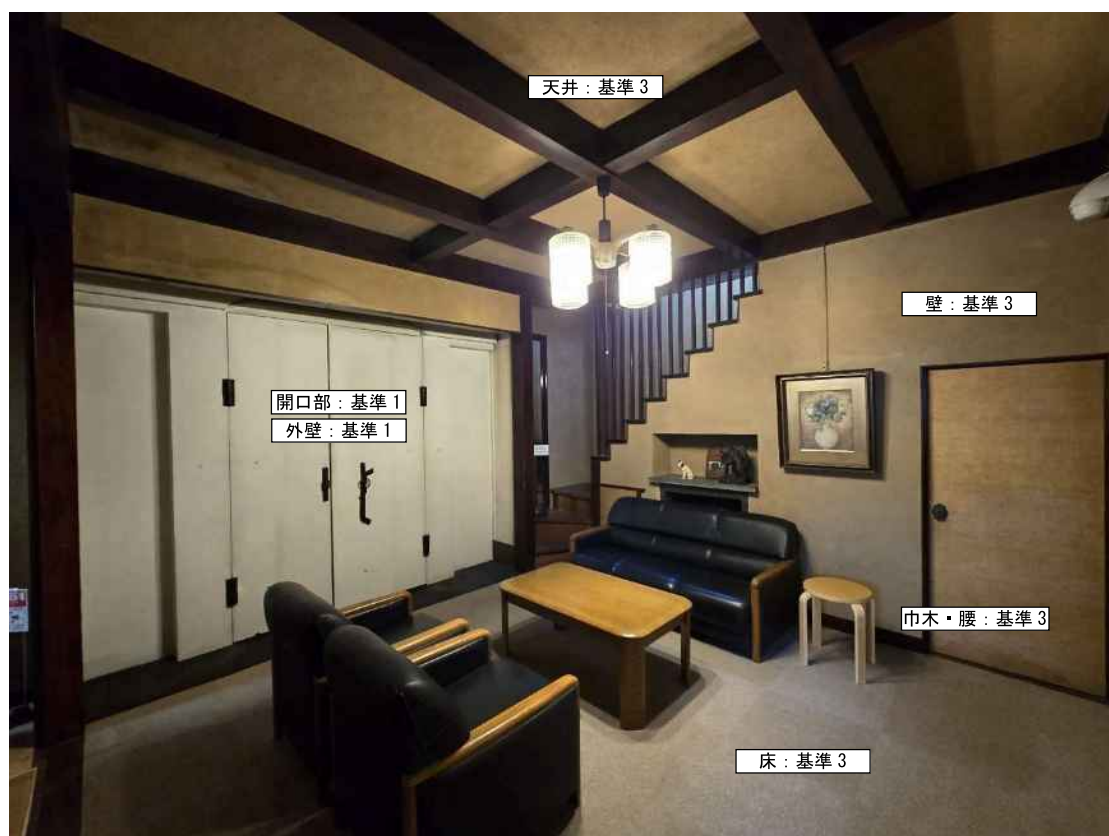


南面・東面

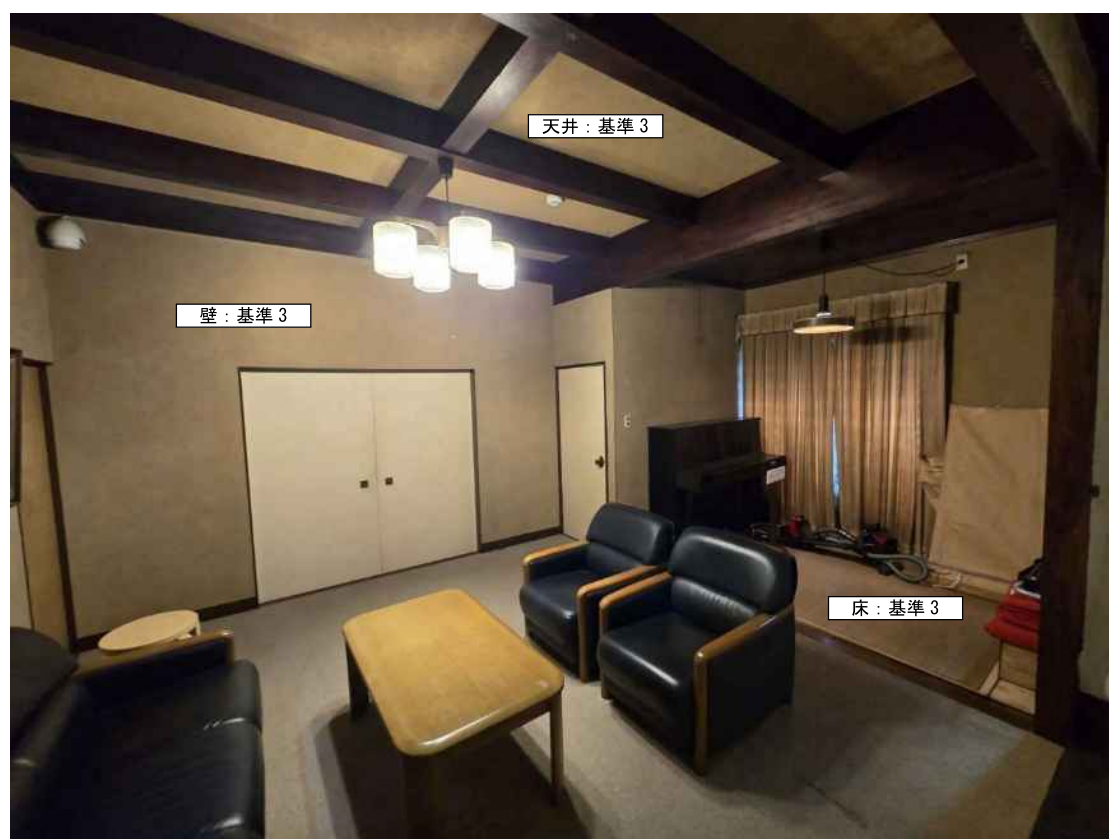


北面・西面

主屋 1階 ゲンカン



南面・西面



北面・東面

主屋 1階 ブツマ



北面・西面

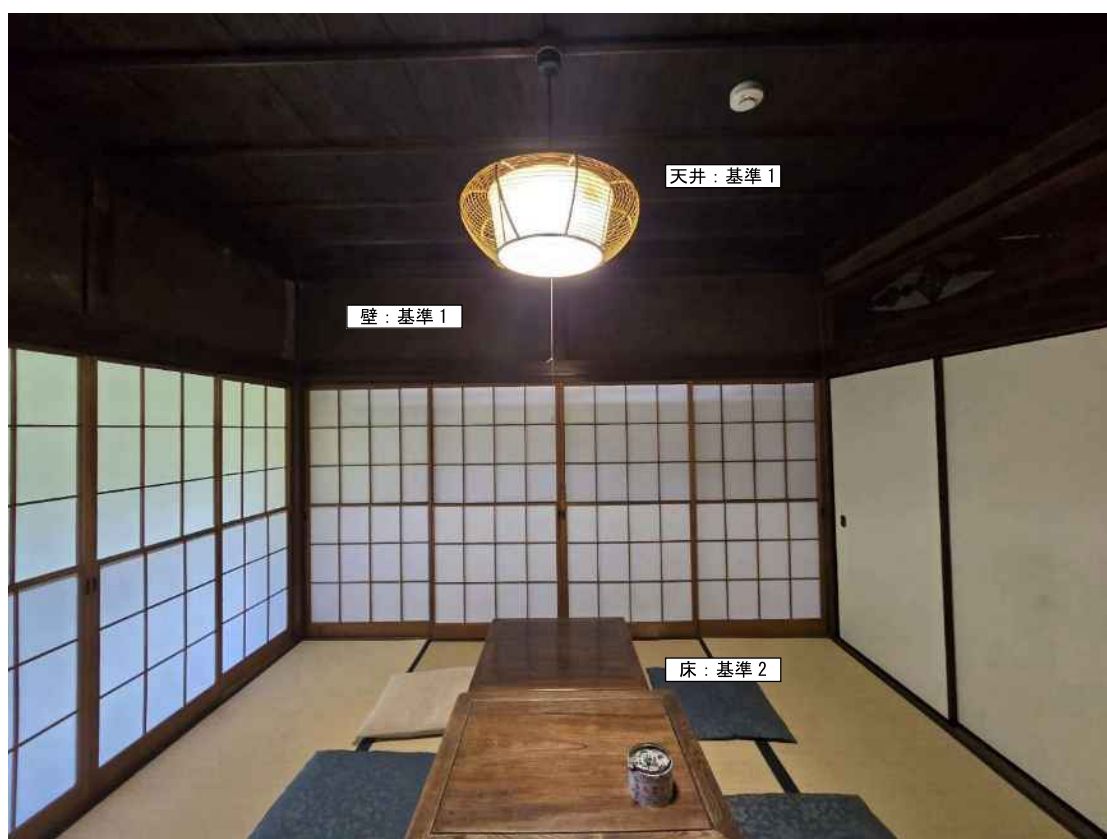


南面・東面

主屋 1階 オクノザシキ



西面（正面）



南面（正面）

主屋 1階 縁側1



南より北を望む



北より南を望む

主屋 1階 広縁



北面・東面

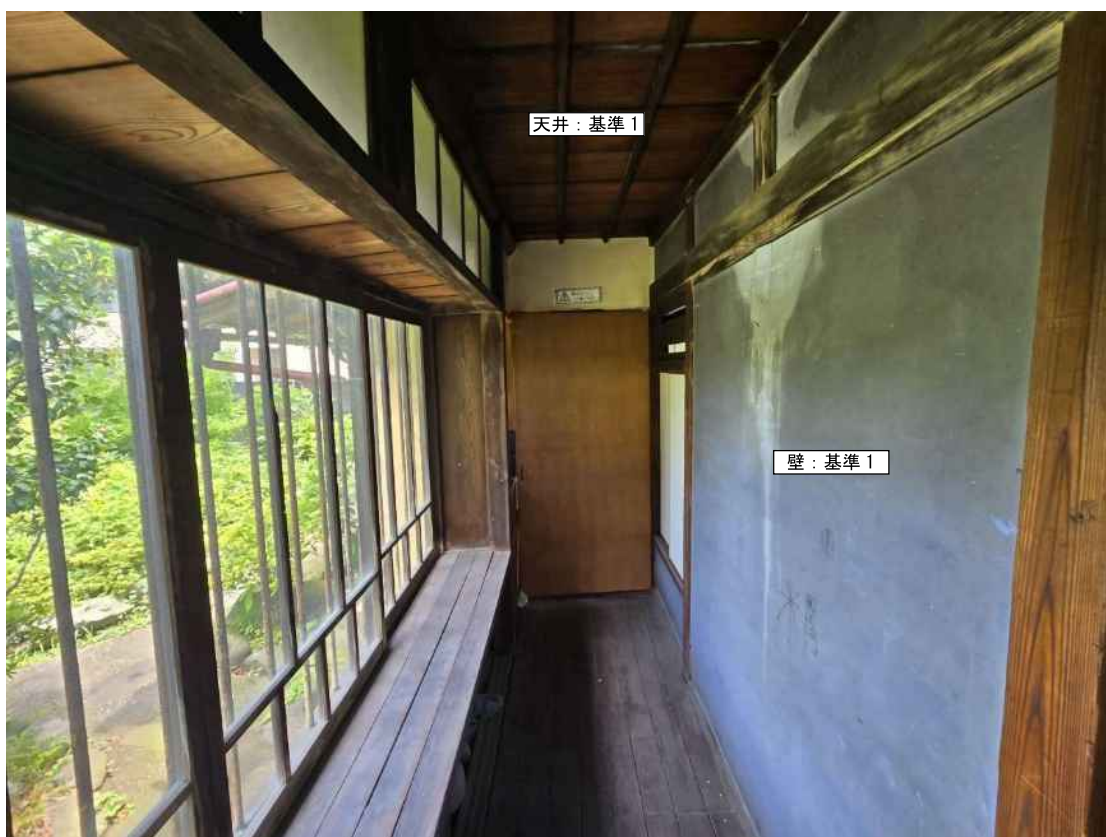


南面・西面

主屋 1階 縁側2

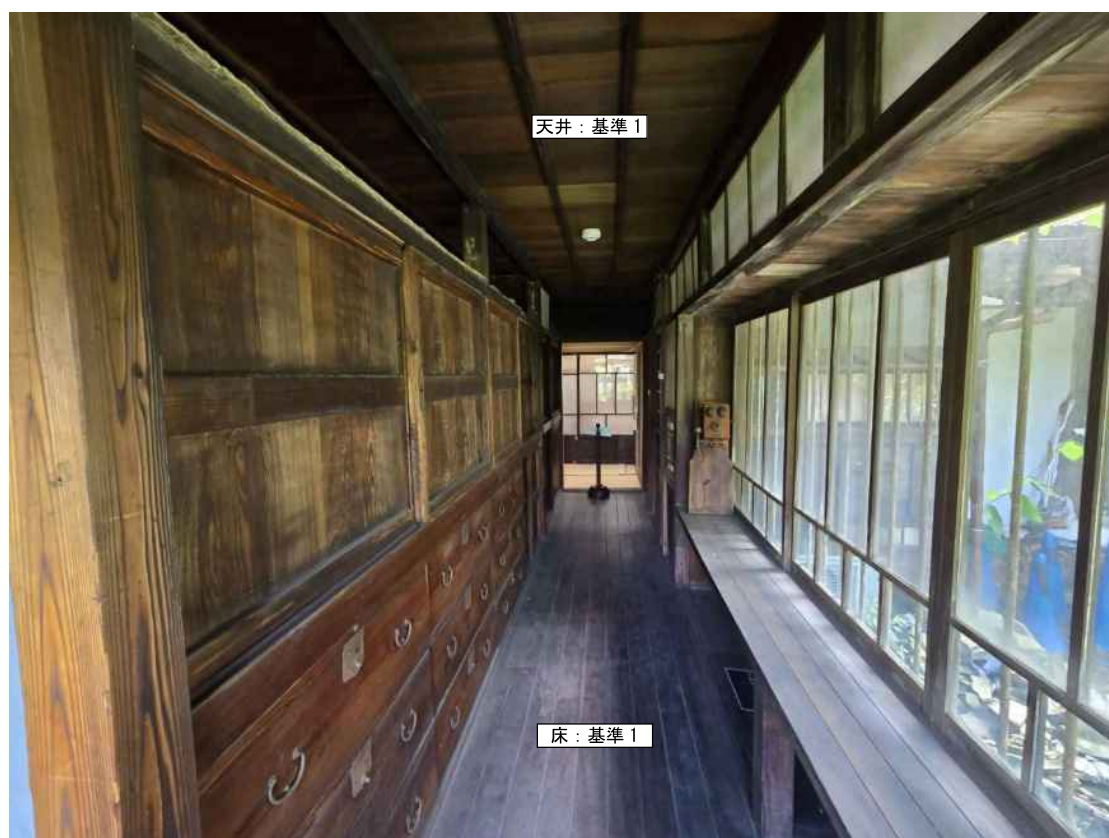


東より西を望む

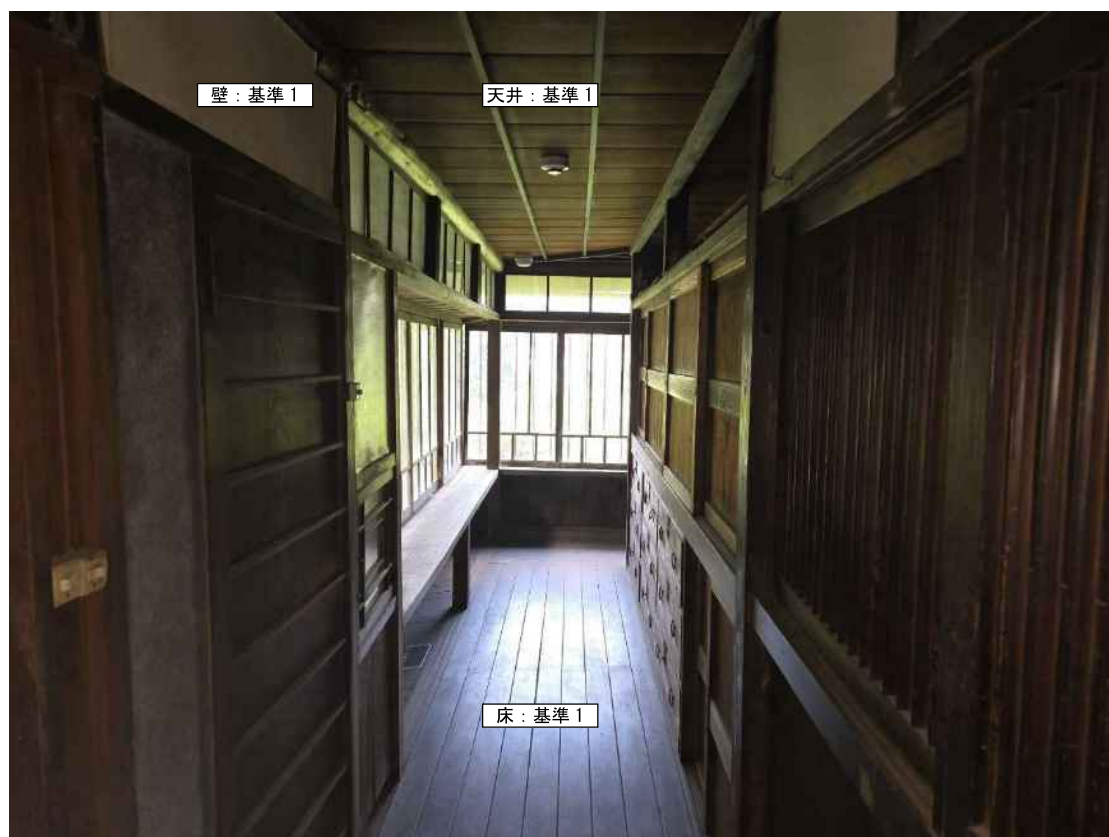


西より東を望む

主屋 1階 縁側2



北より南を望む

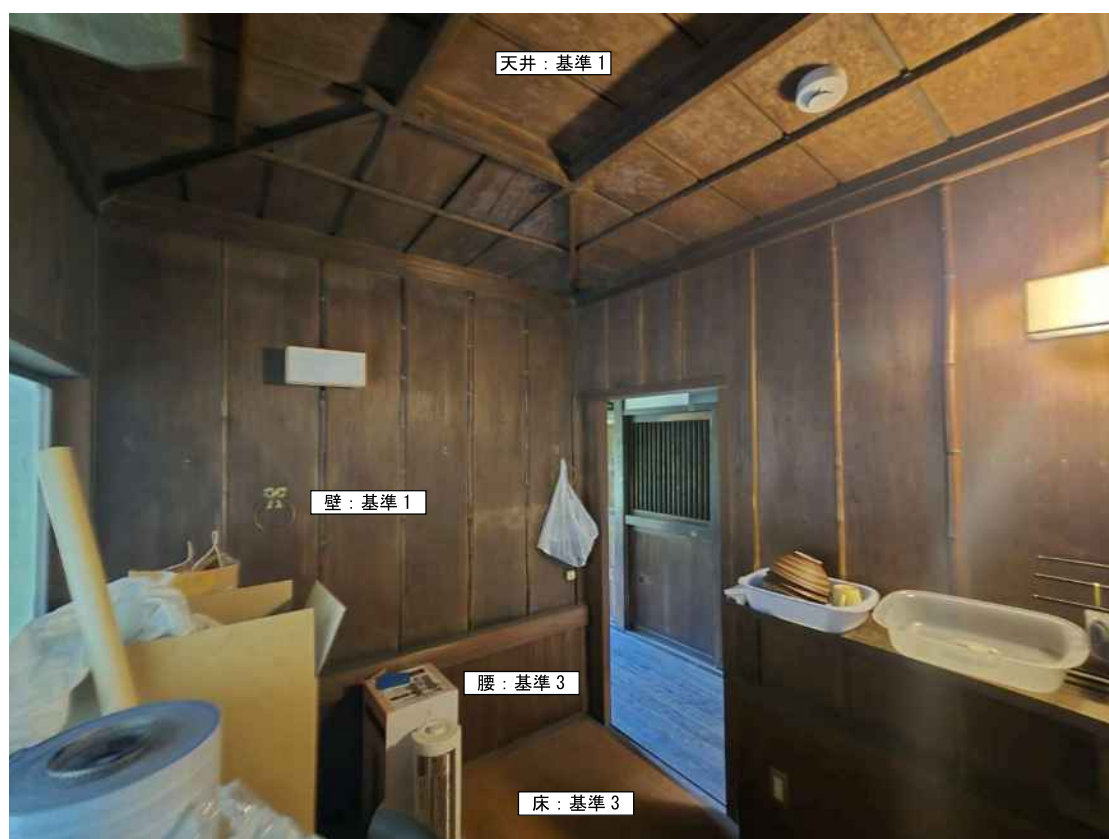


南より北を望む

主屋 1階 湯沸かし（旧浴室）



南面・西面

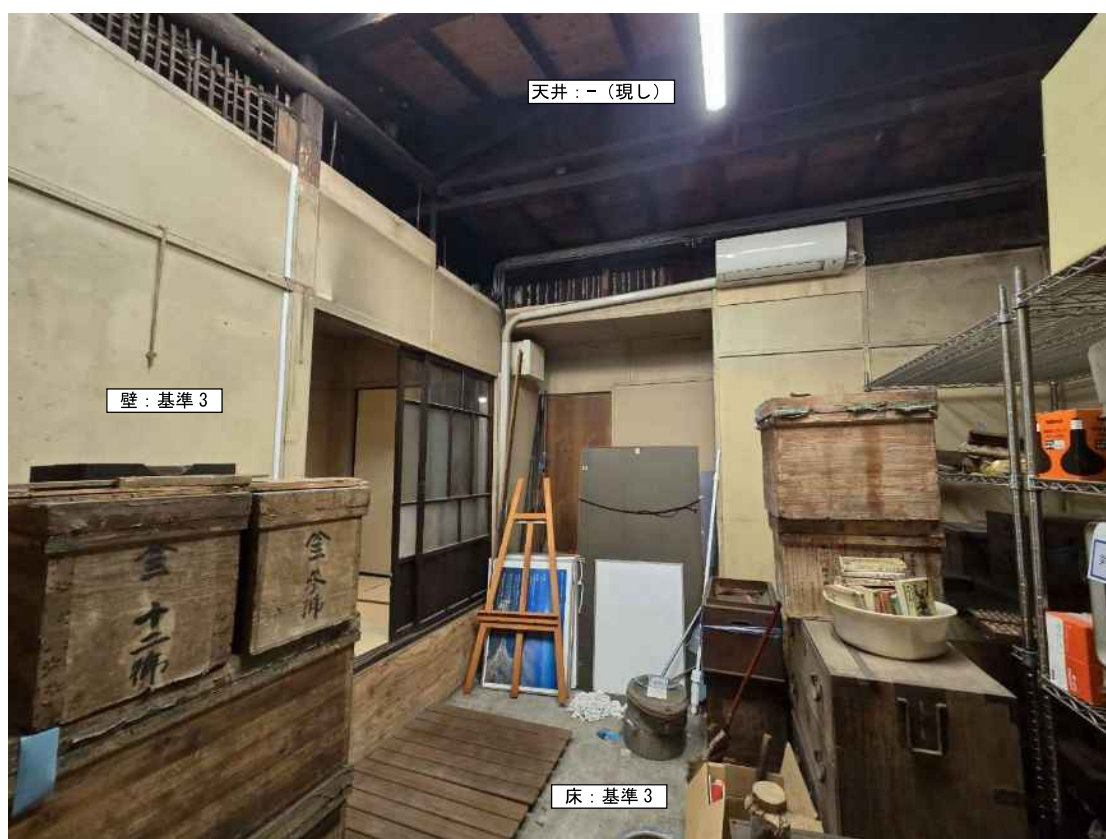


北面・東面

主屋 1階 倉庫（旧台所）



南面（正面）

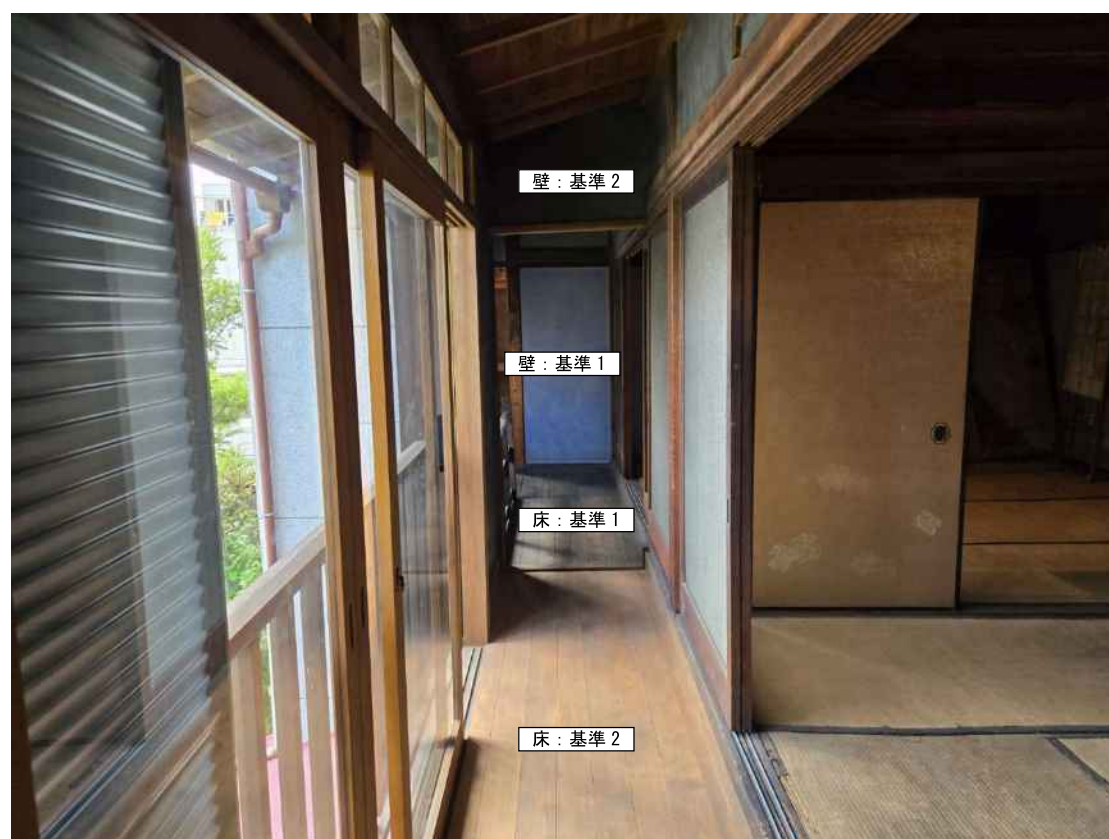


北面・東面

主屋 2階 縁側3



南より北を望む

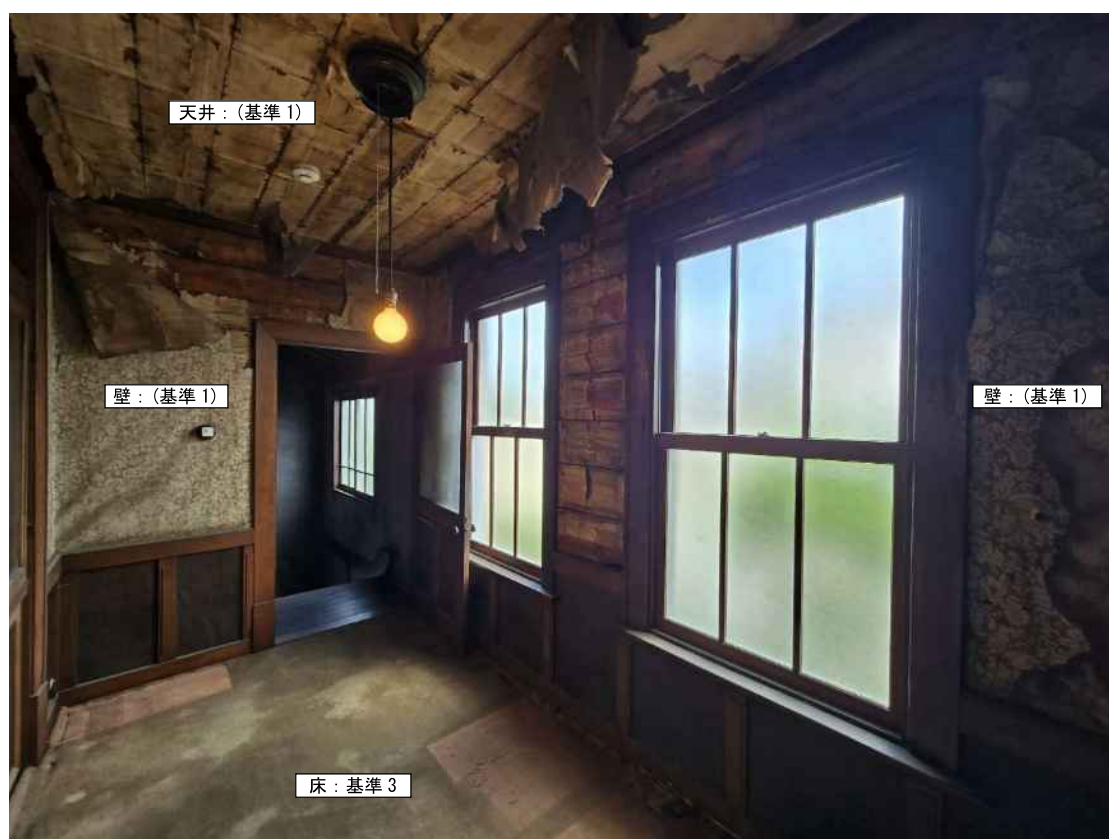


北より南を望む

主屋 2階 前室



南面・西面

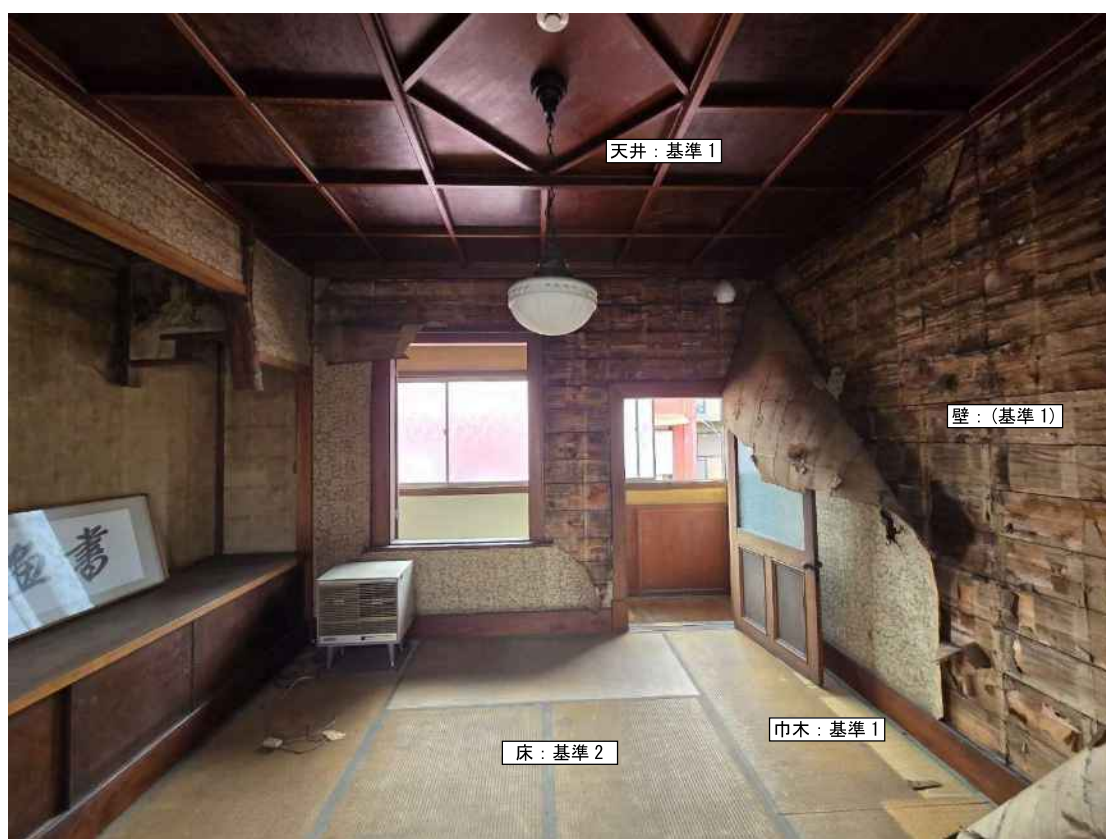


北面・東面

主屋 2階 洋間

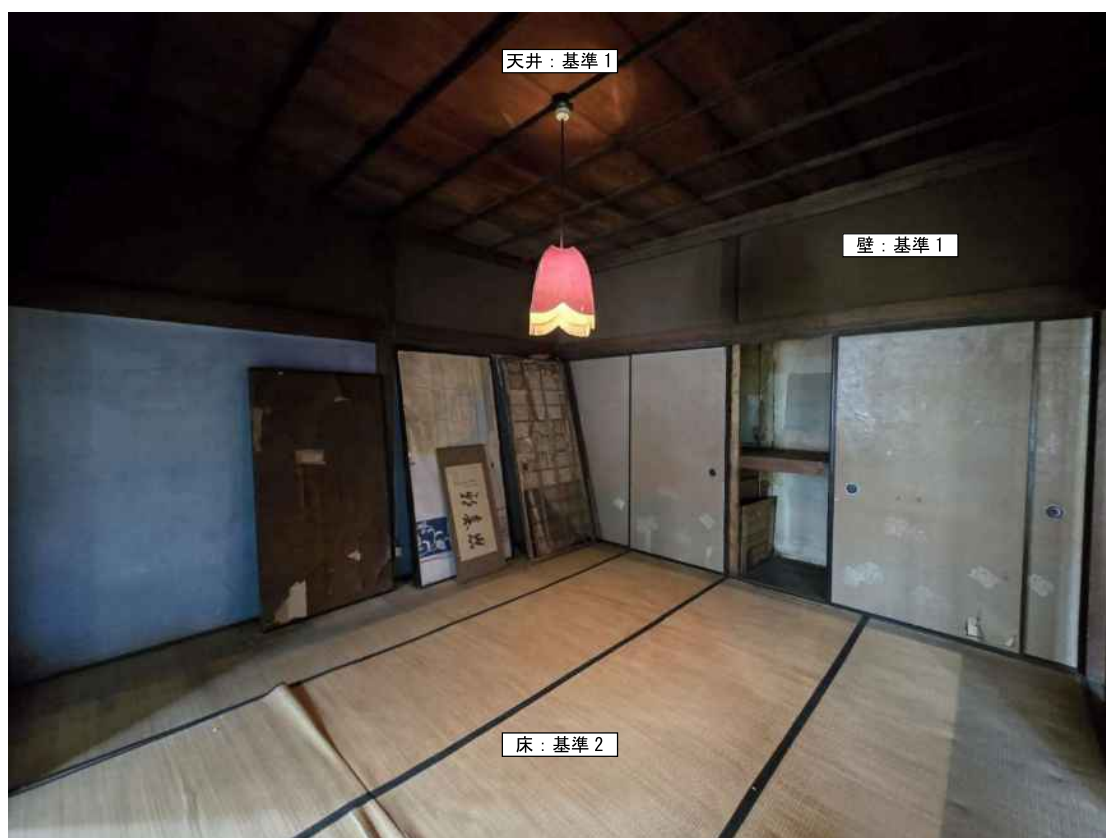


南面・東面

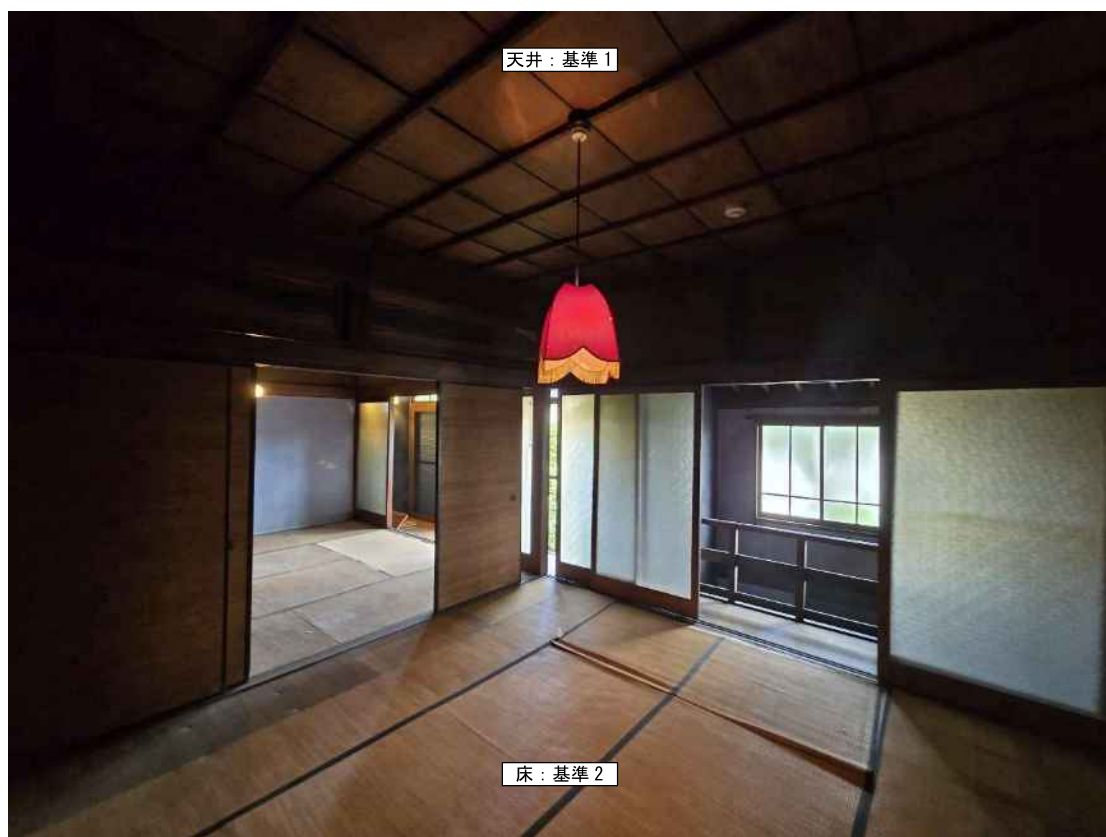


西面 (正面)

主屋 2階 南八畳

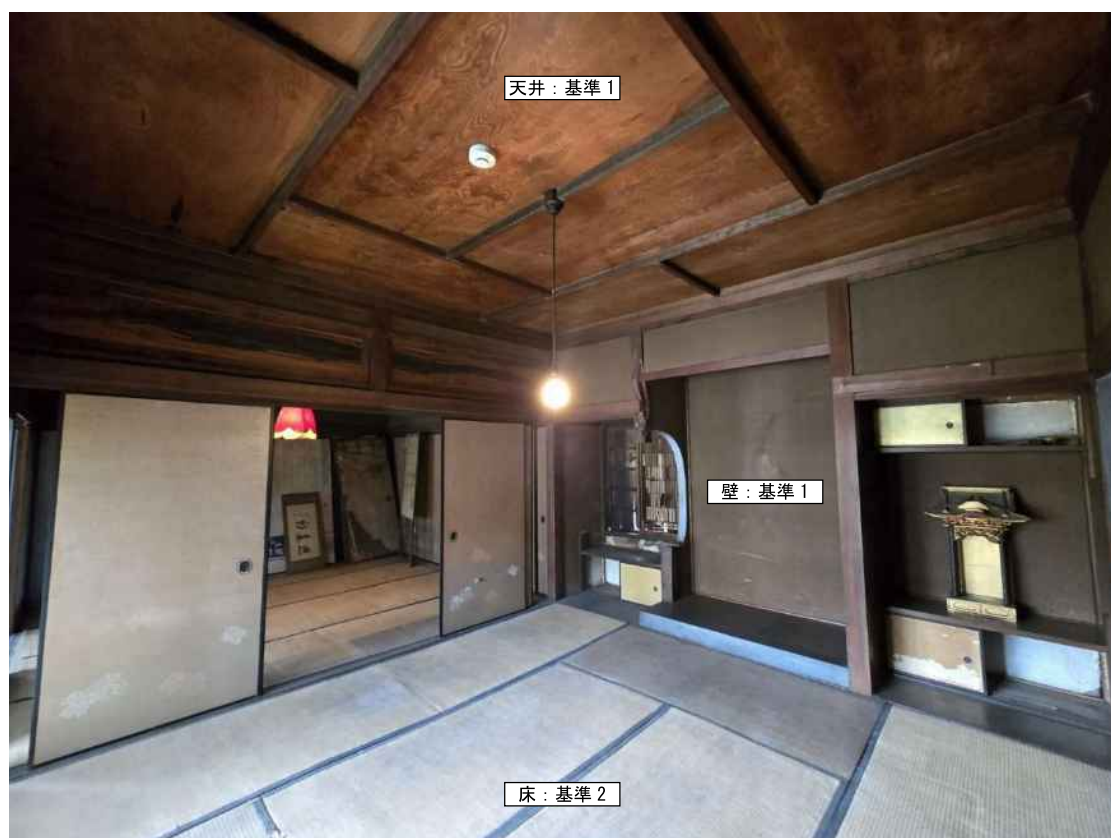


南面・西面



北面・東面

主屋 2階 北八畳



南面・西面



北面・東面

天井：基準1

壁：基準1

床：基準1

北より南を望む

主屋 階段 2



1 階から 2 階を望む



2 階から 1 階を望む

文庫蔵 1階



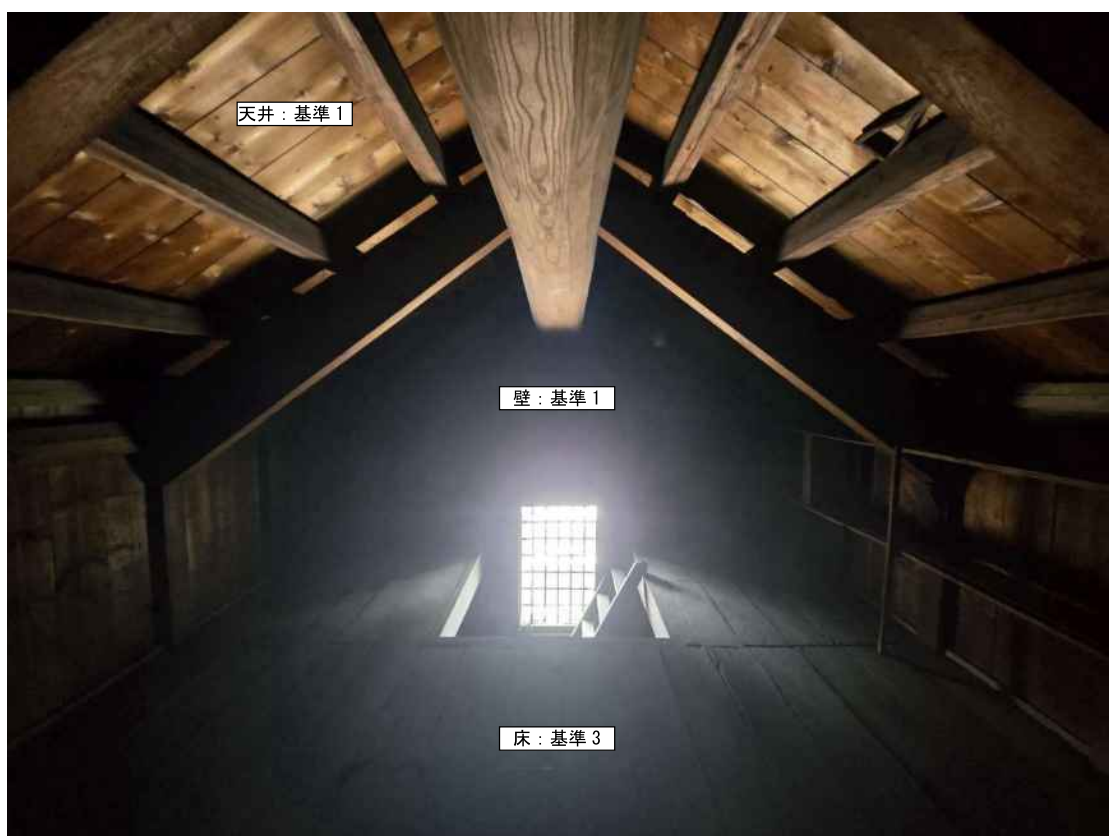


北面（正面）

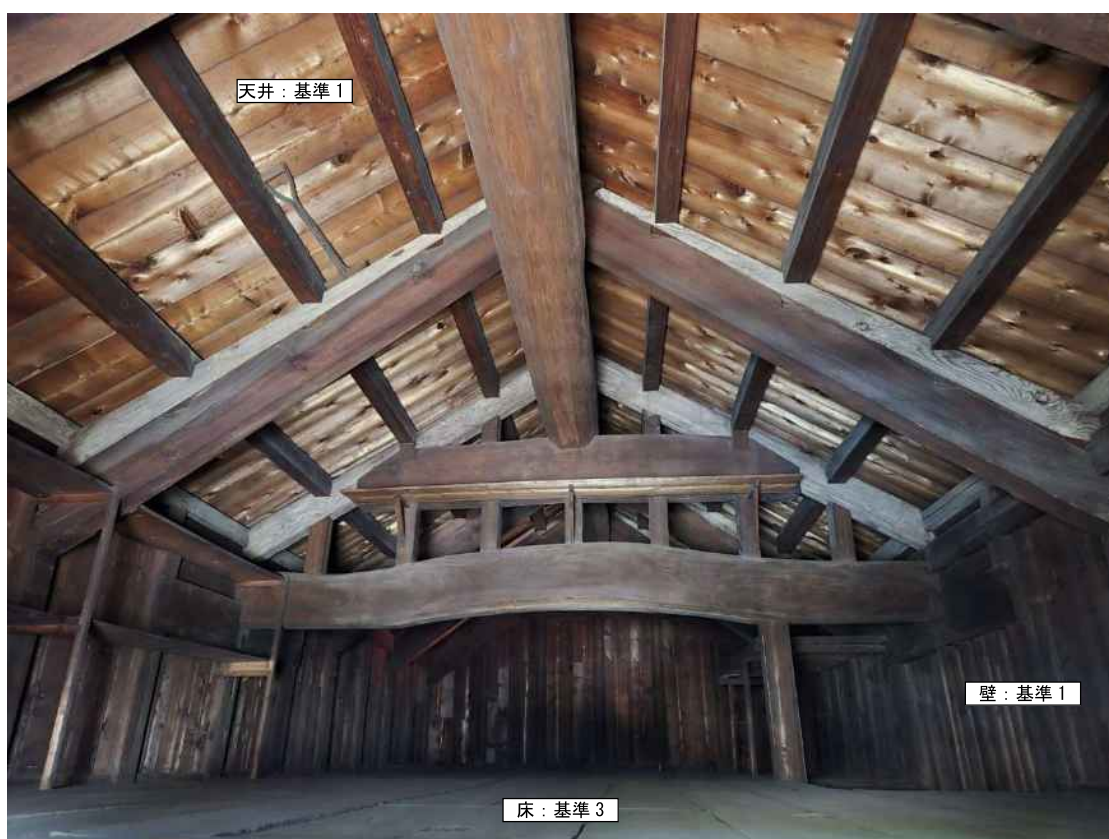


pp

南面（正面）



南面（正面）



北面（正面）

